



脇屋幹夫展

WAKIYA Mikio exhibition

新世界表現第3章

—— 文庫棚：記憶と想像力の拡大 ——

2013.11/21(木)～11/26(火)

[11:00～19:00 最終日は16:00]



今回の展覧会は脇屋幹夫さんによる絵画展です。脇屋さんご自身の新しい表現を探索されており、3年前から今のスタイルで作品を発表されています。会場には本をモチーフに描かれた作品がずらりと展示されていました。これらの本は全て脇屋さんのご自宅にある本であり、本棚に実際に並んでいる様子を描いたものだそうです。

脇屋さんの絵は様々な本とそれを囲む本棚で構成されています。それぞれの本の背表紙のデザインや色が組み合わせたり、一枚の絵になっているのです。さらに本にはタイトルや作家名などの文字が書き込まれています。文字があることで意味が生まれ、一つの本棚の中に集められた本は全体で一つのメッセージを伝えているようにも思えました。

展覧会開催中は毎日たくさんの方が来場され、作品の鑑賞と共に、脇屋さんと作品の中に描かれた本についての対談をされていました。

